

平成23年農作業死亡事故の発生状況

農業担い手課

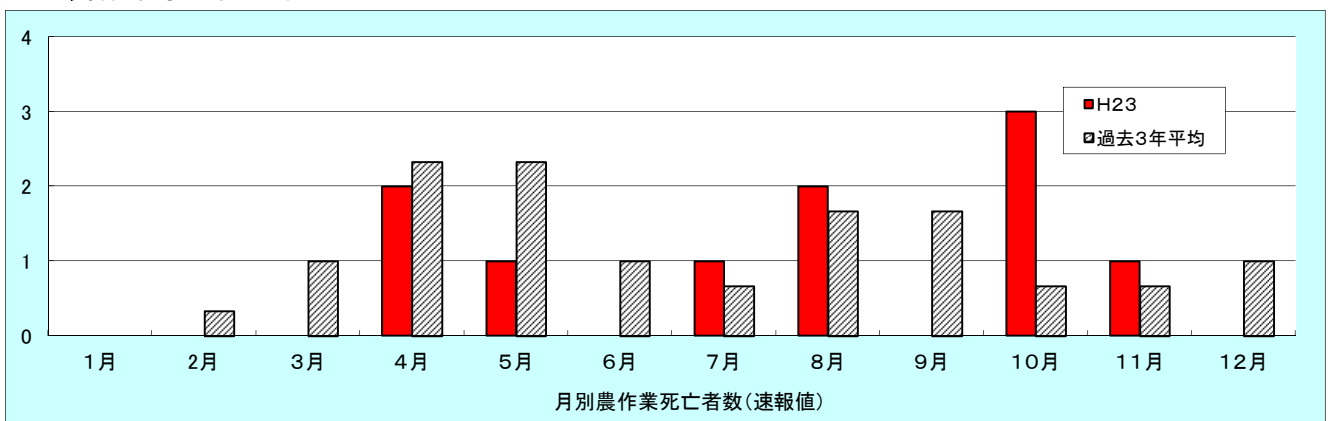
平成23年中に福島県内で発生した農作業死亡事故については、以下のとおりです。なお、速報値であり、平成24年末に予定されている詳細調査により追加される可能性があります。

平成23年(暦年)福島県内での農作業死亡事故発生状況(概要)

発生月	時間帯	年代・性別	発生状況	考えられる対策
4月	午後	80歳代男性	水田への暗渠設置作業中、トラクターがのり面から1.8m下へ転落し、安全フレーム等なく下敷きとなった。	安全フレーム装備及びシートベルト装着 操作時の周囲の確認
4月	午後	80歳代男性	前作のインゲン豆の残渣等を焼却中隣接山林の下草へ延焼し、踏み消そうとして煙にまかれ焼死したとみられる。	消火用水の確保 事前の周囲への散水
5月	午前	60歳代男性	水田耕起作業中、トラクターごと約3m下の水田に転落し、胸部が圧迫された。	安全フレーム装備及びシートベルト装着 操作時の周囲の確認
7月	不明	80歳代男性	耕起作業の移動中、農道からトラクターごと山林に転落した。	安全フレーム装備及びシートベルト装着 操作時の周囲の確認
8月	昼	70歳代男性	畑の耕起作業中、旋回中のトラクターから投げ出され横転したトラクターの下敷きとなった。安全フレームは装備されていたが、発見時には折りたたまれていた。	安全フレーム固定及びシートベルト装着 旋回時は速度を落とす
8月	午後	60歳代女性	桃の収穫作業中熱中症で倒れ、死亡した。	こまめな休憩、給水
10月	午前	60歳代男性	単独で運搬車を操作し収穫した稲束を運搬中、畑に設置した稲天日乾燥用鉄パイプと運搬車に挟まれ、約3時間後に発見された。	操作時の周囲の確認 障害物付近では後退作業を極力避ける
10月	午後	70歳代男性	トラクターで畑の耕起作業中、トラクターごと法面から転落した。安全フレームは装着されていたが、シートベルトは使用せず投げ出された。翌日、雨天が予想され作業を急いでいたと推測された。	シートベルトの装着 操作時の周囲の確認 余裕を持った作業計画
10月	午後	40歳代男性	二階の床が抜け保管していた糶が落下し、一階で作業中の男性が糶に埋まり窒息した。	保管場所・方法が適切か確認
11月	午後	70歳代女性	梅林内の斜面を除草中、手押しの除草機が転倒し下敷きとなった。	急な斜面での作業は避ける 操作不能時は機械から手を離す

(出所:各農林事務所農業振興普及部・農業普及所からの報告書等)

月別の農作業事故発生状況



* 各農林事務所より報告があったもので速報値。